

京北病院で党の議員質疑

○質問 通院手段の改善を

自治体病院は、地域の基幹病院として、民間では採算性の確保の上で困難だが大切な医療を担っている。

京北病院について。10月からの外来診療医師担当表が玄関に表示されていた。毎日あるのは、内科と外科。週2回は整形外科と小児科、週1回が乳腺外科と眼科と泌尿器科。皮膚科は月2回。地域に根ざした医療と介護を担うという役割から見て、改善が必要ではないか。

また、バスの時刻表も、京北病院からは、周山行きのバスが1日平日4便、上川行きが3便、木曜運行はそれぞれ3便と土曜運行は周山行きが3便、上川行きが2便という状況である。黒田の地域からは集団タクシーもあるが、充分とは言えない。自動車がないう病院内もなかなか通院できない。中期計画案の中で、病院の担う役割として、改善が必要ではないか。

（答弁）医療衛生推進室長 今の診療科で充足している。市立病院との人事交流で医師を確保している。送迎バスは診療にあわせて運行しており、基本的に足りている。往診や訪問医療のニーズも高く、訪問診療・看護も行い、地域の医療ニーズに添えている。市立病院と連携していく。

○質問 透析患者の対策を求め

人工透析で、週3日、市民病院へ通院している方がいる。市民病院行きのバスの手配など有るが行きだけ。帰りは自分で

対応をとっている状況。市民病院だけでなく、別の病院で人工透析を受けておられる方もいる。人工透析の設備をと病院側に要請をしたこともあるが、「気持ちはあるが条件があり難しい」とのことだった。そうだが、こういった現状を認識しているか。少なくとも、帰りの車の手配はできるのではないか。

（答弁）医療衛生推進室長

透析が必要な方がおられることは認識している。設備投資の関係から京北病院では無理。市立病院でやっている。送迎車は朝集まっで行っていただくことはできるが、治療にかかる時間が違い、帰りの確保は難しい。南丹病院にも設備があり。そちらに行ってもらう。

○質問 「京北は右京区だ」

終わって帰るときがしんどい。帰りの手配も計画に位置づけを。

森林管理法で学習 「林家の支援を」

西村議員の討論

「森林管理法」の最大の問題は、森林所有者に、伐採、造林などに管理義務を課し、できなければ森林所有者の経営権に介入する仕組みです。

この制度は、国がTPPなど自由貿易を推進し、林業分野でもさらに自由化を推し進めるため、安価に大量に安定供給するよう大規模な経営体を集約化し、自由化に

木材の価格保障を

林業の基礎となる林地の地籍調査と境界確定を促進し、森林所有者や生産、製材・加工など川上と川下が連携し、林家の皆さんの実態に即した産地づくりが必要です。また、国は、森林所有者が再造林や持続的な管理経営に取り組みするよう木材の価格保障をすることなど、地域の生産者・林業経営者の状況に沿った支援を強めることこそ必要です。



森林経営管理法の学習会に参加

「森林経営管理法」を考える学習交流会

講演 泉 英二 先生

南丹病院と云うが、バスも少ない。京北は右京区だ。4年間の中期計画で位置づけるべきだ。「料金に関する事項」では「理事長は減額・免除できる」と書いてある。実績はどうか。

○質問

書いてあるだけだ。実績あるものにするべき。ニーズに合わせて」と言うならばしっかりと位置づけるべきである。

台風被害で林業支援を

西村市議員質問

台風21号による山林の倒木被害は大規模だ。今後の調査の進捗で更に被害が増える可能性もある。森林は度重なる災害によりこの5年間で台風・大雪など連続して被害が発生している。台風・雪害などで平成25年か

市長

台風21号の強風は歴史的に2番目のもの。国・府・市として一緒に支援する。専門家の方々所有者、組合とも相談して十分に検討していきたい。



市二行で、「市議員ユース」を活動の場として活用したい。310号のバスをどう活用するかを相談したい。よろしくお願いします。